

令和6年度 滋賀県「健康いきいき 21」地域・職域連携推進会議議事概要

1 開催趣旨

県民の健康寿命の延伸や生活の質の向上を目指し、いきいきとした健康社会の実現を図るため、また、地域保健と職域保健の連携によって生涯を通じた健康づくりを継続的に支援するための効果的な保健事業の構築を図り、健康増進計画等の推進に寄与することを目指した取組について検討する。

2 開催日時

令和7年2月13日（木） 書面開催（資料送付）

令和7年2月28日（金） 意見提出期限

3 会議委員

三浦委員、木村委員、佐藤委員、村杉委員、富田委員、山本委員、河津委員、廣瀬委員、石河委員、宇野委員、寺村委員、林委員、奥野委員、吉田委員、真田委員、高部委員、梶谷委員、雲林院委員、小林委員、安東委員

4 議題

（1）国および県における健康づくりの取組について【報告】

（2）健康いきいき 21-健康しが推進プラン-（第3次）の推進に向けて【意見聴取】

①令和6年度における各機関の取組について

②本会議で「身体活動・運動」を重点テーマとすることについて

③健康データと AI を活用した健康づくり推進事業について

5 概要

議題4（2）健康いきいき 21-健康しが推進プラン-（第3次）の推進に向けて

①令和6年度における各機関の取組について（別紙報告内容参照）

各関係機関が上記計画に基づく取組を進めていただいていることを御報告いただいた。

② 本会議で「身体活動・運動」を重点テーマとすることについて（別紙意見聴取結果参照）

【主な御意見】

- 「身体活動・運動」について各所属で取り組みそうなこと
 - ・チラシ配布やイベント事業の協賛等について協力可能。
- 「身体活動・運動」について「連携できそう」「連携してみたい」所属について
 - ・日頃の連携を通じた取組を継続する。
 - ・小中高を対象とした健康教育を検討するため、連携可能な団体があれば連携してみたい。
 - ・多様な連携について協議したい

- 「身体活動・運動」を重点テーマとすることについて
- ・国スポ・障スポをきっかけにする。
 - ・運動習慣は様々な疾病の予防に効果大きい。
 - ・従業員の高齢化に伴う行動災害の抑止が重要課題であり、意義がある。
また、取組を進める上での懸念事項としては以下の三点が挙げられた。
 - ・トレンドで魅力的なテーマ・内容の検討が重要
 - ・「健康のための運動とスポーツ」と「レクリエーションとしての運動」と切り分けて議論すること。
 - ・幼児期・学童期の遊び・運動を、どの様に生涯スポーツに繋げるか議論が必要。

③ 健康データと AI を活用した健康づくり推進事業について

【主な御意見】

- ・健康データを分析し、日々の健康づくりや復職支援に活用したい。
- ・健康診断データやレセプトデータを分析し、多様な疾患・事象のリスクの検証に繋げてほしい。

6 事務局総括

多くの賛同する御意見をいただいたことから、令和7年度の重点テーマは「身体活動・運動」とする。

令和7年度は、「健康づくりのための身体活動・運動ガイド（2023）」の普及を行うとともに、引き続き関係機関と連携しながら、健康に関心が薄い人も含め県民の皆様が興味を持っていただけるような取組内容について検討してまいりたい。

また、健康データと AI の活用については、データの選び方、分析方法など課題はあるが、委員の皆様の関心や期待の高さが伺えた。引き続き利活用に向けて検討を重ねてまいりたい。